



今日のIt's wonderful! 「生徒会のサミット」令和6年8月1日（木）

この日と翌日にかけて、「島原半島生徒会サミット／千々石少年自然の家」と題して、島原半島内のすべての中学校から生徒会の代表者（2～3名）が一同に会したサミットが開かれました。

ほとんどの生徒が初対面なので、最初はリラックスするために班に分かれてクイズが行われました（さすが、自然の家のプログラムです!）。「私の好きな食べ物は何でしょう」という簡単なものでしたが、これで雰囲気がなごんでいました。ナイス!

そして、いよいよ各校の代表が「我が校の自慢、生徒会活動の様子」を発表する時間です。左は発表の準備をしているところです。毎月、生徒集会を開いているので、手慣れたものでした。



そして発表! 生徒会活動のことのほか、学校で取り組んでいるキャリア学習のことや学力向上、生活習慣の向上のことを、凛とした態度で原稿を見ずにみんなを見て発表しました。内容もすばらしい! の一言でした。見ていて誇らしかったです。

このあとは、自由時間のあとに夕食、夜はレクレーションをし、翌日はみんなで昼食を作るとのこと。その間に他校の生徒たちと色々な話ができたんじゃないかと思います。今回のサミットで見たり聞いたりしたことを、学校での生徒会活動の改善に生かしてくれたらと思います。期待してるよ!

左は、自然の家から見える風景です。千々石の海岸が広がり、夜は漁火が広がる絶好のスポットです。こんないい環境の中で島原半島の未来を担う中学生が語り合う行事って、いいなあと思いました。スタッフのみなさん、ありがとうございました。





今日のIt's wonderful! 「平和集会」令和6年8月9日(金)

長崎の街に原爆が投下されて79年目となりました。長崎県内の学校では一斉に平和学習が行われました。本校でも実行委員(生徒)が中心になって「原爆に関するアンケート」や「詩の朗読」「平和宣言文の発表」などを行いました。そして今年は特別に、世界各地を訪ねて平和活動を行われている安野伊万里さんをお招きして御講演をいただきました。その様子を御覧ください。

まずは「開式」で、御覧のような緊張感の中、進行も生徒で行いました。

最初は、原爆のことについて全校生徒にアンケートを取った結果の発表が行われました。原爆が落とされた日や終戦記念日などが問われていましたが、四分の一の生徒が忘れてしまっている現状に考えさせられました。

そこで、次に「人間を返せ」というビデオを視聴しました。長崎や広島の前爆の状況や被爆された方々のその後の様子などが詳細に描かれていて、被害者の方々の苦勞や苦惱が深く心に刻まれました。

次は、安野さんの御講演でした。広く世界を知ってらっしゃる安野さんのお話で、今の世界の現状や身近な(自分の中の)課題などに着目することができました。それから、もともとは島原半島の御出身でいらっしゃるということで、一歩踏み出すことでいろいろなチャレンジができることも、生徒たちにとっては刺激になったのではないかと思います。ありがとうございました。



御講演の途中には、生徒同士で意見を交換する時間も取ってくださり、生徒たちの生の想いを知ることができました。



御講演が終わって、実行委員会を代表して福田君と石江さんからお礼の言葉と花束をお送りしました。ありがとうございました。

最後には、生徒会平和宣言を発表しました。



さて、世界には戦争中の地域があり、昨今では大きな地震の心配も出てきました。身近には熱中症やメディア依存症などもあります。心配なことがたくさんありますが、手を取り合っていい方向に向かうことができるよう祈りたい8月9日でした。



今日のIt's wonderful!「登校日の様子」令和6年8月21日(水)

ほんとうに暑い日が続きます。みなさま元気に(安全に)お過ごしでしょうか。どうぞ水分と栄養と睡眠をしっかりにとって、この夏を乗り切ってください。

さて、本校では、この日と翌日(3年生は加えてあと2日間)を授業日として、以前まで2学期が始まってから行っていた課題・実力テストを行っています。以下、そのテストを受けている様子です(1・2・3年生の順です)。



「夏休みなのに・・・」との御意見もあらわれるかと思いますが、以下の理由により実施しています。

- テストを学期はじめの（生徒も教師も）ドタバタしている時ではなく、時間的に余裕があるときに行う。
- 学期が始まる前に、生徒の学力的な実態を把握して、個々の生徒の状況を考えて授業の準備を行う。
- 生徒の意識を「夏休みから2学期へ」と切り替えさせる。
- ほとんどの「夏休みの宿題」をこの日を提出期限として、残りの1週間の心の負担(?)を減らす。 など

また、3年生は、本年度から受験の日程が繰り上がりましたので、早め早めの準備が必要となっていることも理由の一つとなりました。ちなみに、テストの順番ですが、左の写真にあるとおり、高校入試の順番で行っています。

ほかには、2学期の準備として、学級組織も夏休み中に決めてしまいます。これもスムーズに新しい学期の最初を歩みだすための工夫です。

とはいえ、夏休み明けは生徒たちにとっては辛いものもありますので、お子さんの様子を見られて、気になることがあったらお声掛けをお願いします。

始業式に元気な生徒たちの姿を見ることができるよう願っています。

猛暑に負けず！

熱中症警戒アラートがずーっと発表された夏休み、平和学習や講演会、生徒会サミットなど、貴重な体験を積み重ねました。個人研究も進んでいます。日焼けもして、たくましくなった彼らを見て、心からこのまちの未来に期待をしています。

来る10月25日、「ふるさと学」本発表、どうぞご期待ください。

校長 大嶋博之